

各 位

会 社 名 株式会社フォーバル  
代表者名 代表取締役社長 中島 將典  
(JASDAQ・コード番号8275)  
問合せ先 取締役 加藤 康二  
電話 03-3498-1541

## 過年度有価証券報告書等、決算短信等の訂正に関するお知らせ

当社の子会社株式会社フォーバルテレコム(9445:東証マザーズ、以下フォーバルテレコム)は下記の理由により過年度の決算を訂正することとなり、それを受けて当社も本日の取締役会において訂正を行なうことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

尚、本訂正による当社の当期の連結業績の予想の修正はございません。また、過年度の個別業績の訂正及び当期の個別業績の予想の修正はございません。

### 1. 【訂正の理由】

平成23年3月期第3四半期に、フォーバルテレコムの子会社株式会社トライ・エックスは、その子会社であり債務超過が続いていたタクトシステム株式会社(以下タクトシステム)の株式を、フォーバルテレコムへ全株式231株、1株当たり1円、譲渡価額総額231円で譲渡しました。一方、タクトシステムの連結上ののれんは当時266百万円あり、検討した結果その連結上の評価は変更する必要がないと判断し、会計監査人にも伝え、その後も償却を続けておりました。

これについて、会計監査人において過年度の会計処理を見直す機会があり、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」(会計制度委員会報告第7号)第32項(子会社株式の減損処理により減損処理後の株式の簿価が連結上の子会社の資本の親会社持分額とのれん未償却残高(借方)との合計額を下回った場合に、子会社株式の減損処理後の簿価と連結上の子会社の資本の親会社持分額とのれん未償却残高(借方)との合計額との差額のうち、のれん未償却残高(借方)に達するまでの金額についてのれん純借方残高から控除し、連結損益計算書にのれん償却額として計上することを求めるものです)にならって、個別取引での株式譲渡価額に基づいて連結上ののれんの評価を変更することが望ましく、平成23年3月期第3四半期におけるのれんの評価を訂正すべきであるとの報告を、平成25年11月30日に受けました。

その内容をフォーバルテレコムおよび当社において慎重に検討した結果、取引発生年度に遡ってのれんの評価を82百万円に修正し、特別損失としてのれん償却額183百万円を計上するとともに、その後ののれん償却額等もあわせて修正することとしました。

また、これにより平成24年3月期に将来の収益力が低下したとして行なったタクトシステムののれんの減損57百万円は、既にのれんの評価が減額すべき金額以下になっていることから減損する必要がなくなり全額修正いたします。

### 2. 【訂正による影響額の概要】

本訂正における影響額の概要は以下のとおりとなります。

尚、フォーバルテレコムの修正金額とは持分の差異等で一致しない項目があります。

1) 平成23年3月期第3四半期における対象となるのれんの訂正

訂正前	訂正後	影響額
266百万円	82百万円	183百万円

影響額はのれん償却として当該決算期の特別損失として計上します。

2) 平成24年3月期における対象となるのれんの減損の訂正

訂正前	訂正後	影響額
57百万円	－百万円	57百万円

影響額は当該決算期の特別損失の減額といたします。

3) 平成23年3月期以降の本件にかかるのれんの償却費の訂正

	訂正前	訂正後	影響額
平成23年3月期	36百万円	30百万円	6百万円
平成24年3月期	36百万円	11百万円	25百万円
平成25年3月期	27百万円	11百万円	15百万円
平成26年3月期	13百万円	5百万円	7百万円

影響額は当該決算期の販売費及び一般管理費の減額といたします。

以上の修正を受け少数株主持分も変動することから連結業績への影響額は以下のようにになります。尚、売上高の訂正はないため、記載しておりません。

(金額単位：百万円)

【通期】	項目	訂正前	訂正後	影響額	影響率
平成23年3月期 通	営業利益	681	687	6	0.93%
	経常利益	665	671	6	0.95%
	当期純利益	464	331	△133	△28.72%
	総資産	16,277	16,100	△176	△1.09%
	純資産	5,714	5,537	△176	△3.10%

平成24年3月期 通	営業利益	843	869	25	3.00%
	経常利益	846	871	25	2.99%
	当期純利益	587	649	62	10.60%
	総資産	16,224	16,129	△94	△0.58%
	純資産	5,823	5,728	△94	△1.62%

平成25年3月期 通	営業利益	1,164	1,180	15	1.35%
	経常利益	1,216	1,232	15	1.29%
	当期純利益	780	791	11	1.52%
	総資産	16,674	16,596	△78	△0.47%
	純資産	6,259	6,180	△78	△1.26%

平成26年3月期 第2四半期累計	営業利益	561	569	7	1.40%
	経常利益	565	573	7	1.39%
	当期純利益	489	495	5	1.21%
	総資産	14,570	14,499	△70	△0.49%
	純資産	6,300	6,229	△70	△1.12%

### 3. 訂正する有価証券報告書等及び決算短信等

有価証券報告書	第31期	自 平成22年4月1日	至 平成23年3月31日
	第32期	自 平成23年4月1日	至 平成24年3月31日
	第33期	自 平成24年4月1日	至 平成25年3月31日
四半期報告書	第31期第3四半期	自 平成22年10月1日	至 平成22年12月31日
	第32期第1四半期	自 平成23年4月1日	至 平成23年6月30日
	第32期第2四半期	自 平成23年7月1日	至 平成23年9月30日
	第32期第3四半期	自 平成23年10月1日	至 平成23年12月31日
	第33期第1四半期	自 平成24年4月1日	至 平成24年6月30日
	第33期第2四半期	自 平成24年7月1日	至 平成24年9月30日
	第33期第3四半期	自 平成24年10月1日	至 平成24年12月31日
	第34期第1四半期	自 平成25年4月1日	至 平成25年6月30日
	第34期第2四半期	自 平成25年7月1日	至 平成25年9月30日
決算短信	第31期第3四半期	自 平成22年10月1日	至 平成22年12月31日
	第31期	自 平成22年4月1日	至 平成23年3月31日
	第32期第1四半期	自 平成23年4月1日	至 平成23年6月30日
	第32期第2四半期	自 平成23年7月1日	至 平成23年9月30日
	第32期第3四半期	自 平成23年10月1日	至 平成23年12月31日
	第32期	自 平成23年4月1日	至 平成24年3月31日
	第33期第1四半期	自 平成24年4月1日	至 平成24年6月30日
	第33期第2四半期	自 平成24年7月1日	至 平成24年9月30日
	第33期第3四半期	自 平成24年10月1日	至 平成24年12月31日
	第33期	自 平成24年4月1日	至 平成25年3月31日
	第34期第1四半期	自 平成25年4月1日	至 平成25年6月30日
	第34期第2四半期	自 平成25年7月1日	至 平成25年9月30日

上記開示資料の訂正につきましては、所定の手続きを終了後速やかに開示する予定です。  
株主・投資家及び市場関係者の皆様にはご迷惑・ご心配をおかけしますこと深くお詫び申し上げます。

以 上